２０２５年度石教研数学部会レポート例　【授業づくり】

●●中学校　氏名●●

研究主題「**思考力・判断力・表現力の育成を目指した授業づくり**」

１．単元名（題材名・教材名）

●学年　第●章　●●●●「　　　　　　　　　」

２．授業で生徒に身につけさせたい力

文章表現は抽象的に記述する。

・

・

３．授業の計画

（１）本時の目標

　　　　●●●

（２）授業について

|  |  |
| --- | --- |
| 問題の工夫 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 活動の工夫 |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 具体的な教師の発問 | 予想される生徒の反応 |
| 発問の工夫 |  | できるだけ多く予想する。 |
|  |  |
|  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 授業づくりを行って | 授業づくりにあたり、工夫した点や感想、実際に授業を行って気づいたことなどを記載する。 |

２０２５年度石教研数学部会レポート例　【授業づくり】

西の里中学校　氏名　川口　渡

研究主題「**思考力・判断力・表現力の育成を目指した授業づくり**」

１．単元名（題材名・教材名）

２学年　第３章　１次関数「１次関数の活用」

２．授業で生徒に身につけさせたい力

・関数のグラフ（資料から）様々な要素を読み取る力

３．授業の計画

（１）本時の目標

　グラフの形や、数値との関係性から様々要素を読み取ることができる

（２）授業について

|  |  |
| --- | --- |
| 問題の工夫 | 教科書ｐ93の、図のみをそのまま使う。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動の工夫 | 図のみを提示し、生徒たちとのやり取りの中からどんな問題が出題されたのかを考える。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 具体的な教師の発問 | 予想される生徒の反応 |
| 発問の工夫 | ・「グラフと数値を見て何か気づくことはある？」・「気づいたところはどんなことを表しているのだろう？」・「この問題はどのような問題だと予想できますか？」・「では、実際はどんな問題なのかを確認して解いてみましょう。」 | ・速さ関係の話　・二人が進む　・グラフが横ばいの部分がある　・出発時間ちがう　・ゴール同じ　・グラフぶつかる・横ばいは休憩　・ぶつかりは追いつき　・りなさんがあとから追いかける　・1200ｍ先がゴール・追いついた時間を考える問題　・追いついた地点の距離を考える問題　・二人の色々な差について考える問題・教科書ｐ93の問題に取り組む |

|  |  |
| --- | --- |
| 授業づくりを行って | 問題を解くのではなく、どんな問題なのかを考える流れで授業作りを行った。生徒たちは既習事項（動点問題など）から意外にも、いろいろな要素について気づくことができていた。追いついた地点の距離については、グラフからの判断ではあいまいだから、はっきりするためにはどうしたら・・・というところまで生徒の発言で引き出すことができた。 |